

広島派遣研修に参加して

新潟市では、平成17年10月10日に「非核平和都市宣言」を行い、環日本海の友好・交流の拠点都市として北東アジアをはじめ、世界の恒久平和と核兵器の不拡散・廃絶を願い、さまざまな平和推進事業を実施しています。この平和推進事業の一環として、毎年中学生などを広島へ派遣し、原爆の被害や戦争の悲惨さ、平和の尊さについて研修してもらっています。

今年度の「広島派遣研修」には、小須戸中学校から2名の生徒が参加し、感想を文集(平成28年度 広島平和記念式典等派遣事業感想文集)に寄せているので紹介します。

「平和な日常に感謝」

小須戸中学校3年 岡田 尚大

僕は今回の広島派遣研修を通して、戦争の恐ろしさを改めて認識し、平和の大切さを再認識するとともに、この戦争を後世へ伝えていきたいと思うようになりました。

そう思った理由として、一つ目は、被爆者の実際に体験したお話を聞いたことです。僕は事前学習として原爆について調べたとき、爆発と放射線だけが被害内容かと思っていました。でも、実際はそれだけではなくありませんでした。放射線に対する差別行為、生き残った人も、周りの知り合いは全員亡くなってしまい、自分だけ生き残ったという孤独感、考えただけでも悲しくなり、胸が苦しくなりました。

また、当時は人手不足だったため、僕たちと同じ中学生も工場へ行って働か、訓練

をするかでもともに授業を受けられなかったそうです。僕たちは今、学校へ行き、授業を受け、安全に帰ってくる事ができます。これを当たり前に思わず、日常として生活していることに感謝しながら生きていきたいと思えます。

二つ目は原爆を受けたものを見たことです。平和記念資料館には、融けたビン、ポロポロのコンクリート、熱で歪んだ鉄など、一つひとつ物が原爆の恐ろしさを物語っていました。中でも実物大の原爆模型を見たときはとてもびっくりしました。たった3mしかなくとも物体があんなに大きな被害と恐ろしさを心に植えつけていたと思うと、とても怖くなりました。だから、このようなことがまた起こらないように、世界から核兵器をなくしていくってほしいです。

最後に、この戦争を伝えていくためにまず自分でしっかりと理解をし、そして友達など多くの人に伝えていきたいと思えます。

今回の研修で戦争の悲惨さ、原爆の恐ろしさを学ぶことができました。そして、今、平和な日常がおくれていることに感謝しながら、これからの生活を大切にしていきたいです。



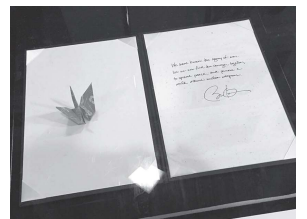
原爆死没者慰霊碑

僕は、広島に行ってきた強く感じたことが二つあります。

一つ目は、戦争は絶対にあってはならないということです。戦争は、たくさんの尊い命が奪われてしまっています。たつた1発の爆弾でも、一気にたくさんの命が失われるのです。今回見させて頂いた資料館も、見るに堪えないものもたくさんありました。被爆者の方のお話も、強く胸を締めつけられました。

二つ目は、原爆についてです。この原爆という爆弾は、世界で初めて落とされた。この爆弾によって、広島市民はもちろんだらけ労働させられていた、韓国人など、外国人のまでが原爆の餌食になったのです。被爆して亡くなった方はもちろん、被爆したけど生き残られた方は、後遺症や差別によって、とても辛い思いをしなくてはならないです。

このように、戦争や原爆は、あってはならないのです。だから僕は今後、原爆や戦争のことを一人でも多くの人に伝え、核廃絶に少しでも貢献していきたいと思えます。僕は今後、戦争も、核もない平和な世界になることを、心から願っています。



オバマ前米国大統領の折り鶴と平和メッセージ

「広島で感じたこと」

小須戸中学校3年 諏訪 一貴

一つ目は、戦争は絶対にあってはならないということです。戦争は、たくさんの尊い命が奪われてしまっています。たつた1発の爆弾でも、一気にたくさんの命が失われるのです。今回見させて頂いた資料館も、見るに堪えないものもたくさんありました。被爆者の方のお話も、強く胸を締めつけられました。

二つ目は、原爆についてです。この原爆という爆弾は、世界で初めて落とされた。この爆弾によって、広島市民はもちろんだらけ労働させられていた、韓国人など、外国人のまでが原爆の餌食になったのです。被爆して亡くなった方はもちろん、被爆したけど生き残られた方は、後遺症や差別によって、とても辛い思いをしなくてはならないです。

このように、戦争や原爆は、あってはならないのです。だから僕は今後、原爆や戦争のことを一人でも多くの人に伝え、核廃絶に少しでも貢献していきたいと思えます。僕は今後、戦争も、核もない平和な世界になることを、心から願っています。

文芸欄

初景色 弥彦山角田山は雲の中
満ち足りし至福のひと日初句会
妻逝きし独りぐらしの初景色
初句会いつも変化はらぬ顔ぶれで
遠く住む等ははにかにや初山河
豊麗縁笑ひじわ濃き初鏡
雲間より覗くあをぞら初霰
寒の月雲の切れ間にほつこりと
街路樹に華を咲かせる今朝の雪
雪起し越の大地をふるはせて
生かされて八十路と三つ今朝の春

吉澤 文子
馬場 綾子
熊倉 ひろむ
丸山 紀子
間野 幸子
風間 幸子
中野 太浪
上田 スミイ
吉田 松子
本多 玲子
馬場 高志

立春だお多福めがけ豆をまく
縁起もの豆まく家へ福が来る
五十年添った鬼に介護され
千鳥足よせと父さん豆まかれ
断れず苦勞背負った良い男

増井 都留
保科 志枝
能登 としお
会田 修
風間 源一郎

冬の日のお日様顔出し布団干す
部屋に陽がさし吾日向ぼこ
降りやまぬ雪を背に受け電線の
小鳥の群れは耐えるがごとく
鉛色の空に向けて庭の木々
雪降る中を凜と春待つ

玲 泉
こ み け
高橋 キヨ

俳句・川柳・短歌募集

題材は自由(お一人一句または一首。住所氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し2月24日(金)までに小須戸地区公民館へ。)

平成29年エゴ講座
サイチヨのマジック段ボール
身近な段ボール箱で
生ごみを堆肥化しませんか?

日時 2月21日(火) 午前10時~11時半
会場 小須戸まちづくりセンター会議室
参加費 無料(用意するものはありません)
※申し込み不要 直接会場へおいで下さい。
主催 小須戸コミュニティ協議会 環境・教育部会
共催 新潟市 環境部 廃棄物政策課 市政さわやかトーク宅配便

「防犯講演会」を開催

1月19日(木)、新潟県防犯アドバイザーを講師に招いて「防犯講演会」が開催され、50名の参加がありました。

おもしろおかしく時にはユーモアに、時には真摯に、詐欺被害に遭わないための知識を学びました。また、講師のトランペット演奏に合わせた合唱は、初めてにもかかわらず息の合った山の手コミ協の絆の深さを感じさせる歌声で、講師からは「合唱団をつくりませんか」とお褒めの言葉を頂いた楽しい講演会でした。



秋葉区自治協議会提案事業

在郷町小須戸 ひな・町屋めぐり 開催中

小須戸コミ協は、3月のひな祭りまでの期間小須戸を楽しんでもらおうと、秋葉区自治協議会と地域のお店の協力を得て、様々なイベントを企画しています。町屋ギャラリー薩摩屋では折り紙サークルによる見事な7段飾りのおひなさまと折り紙のつるし雛などが展示されています。折り紙のワークショップもあり、おひなさまの吊るし飾りを作ることができます。また着物でまち歩き企画やカフェの期間限定メニューなども楽しめます。3月4日は琴の演奏会(14:00~)、5日はフルートの演奏会(11:00~)が行われ、各店舗に飾られたおひな様を巡るまち歩きと演奏会を楽しむことができます。



山の手コミュニティ協議会

小須戸コミュニティ協議会